

リキッドCGPの初回検査が 遺伝子異常未検出であった症例に対する 再採血の意義とタイミングについて



アジア・中東地域の進行がん患者におけるGuardant360検査データの解析結果をご紹介します。本解析結果は、実臨床でリキッドバイオプシー検査が実施された進行がん患者のデータベースを用いた後ろ向き解析により得られたものです。

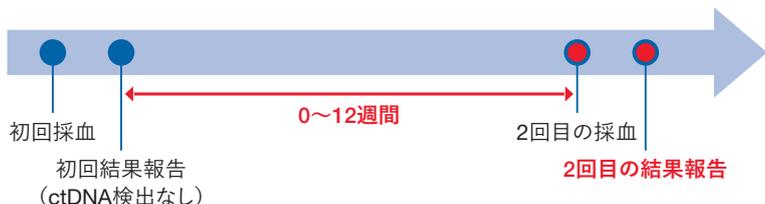
研究の目的・デザイン

目的:

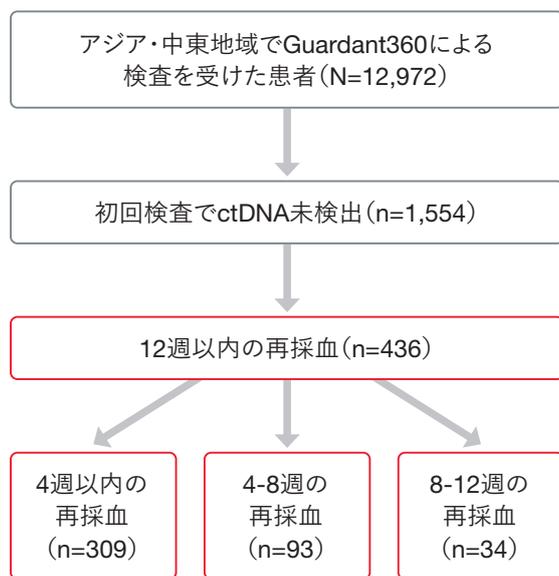
リキッドCGPにおいて、初回検査でctDNA検出なし(陰性)と判定された後の再採血によって、ctDNA検出ありの割合(ctDNA陽性率)が改善されるかどうか検討すること

対象・方法:

ガーダントヘルスの進行がん患者データベース(Guardant360)を用い、2025年2月10日までにアジアおよび中東地域から提出された実臨床の検体のうち、ctDNAが検出されなかった初回検査の後12週以内にもう一度検体を採取した結果を抽出し解析した



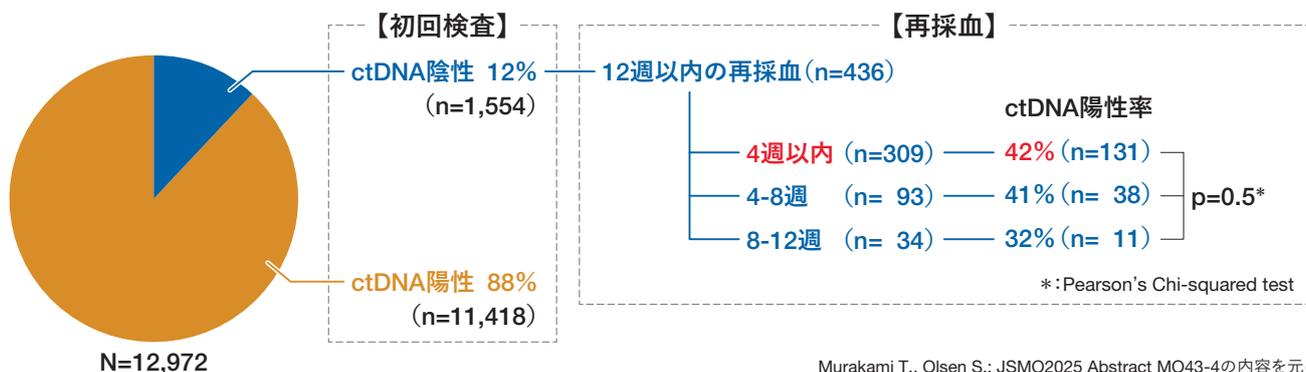
CGP: cancer genome profiling (がんゲノムプロファイリング)
ctDNA: circulating tumor DNA (血中循環腫瘍DNA)
Guardant360 (本邦薬事未承認製品)



Murakami T., Olsen S.: JSMO2025 Abstract MO43-4

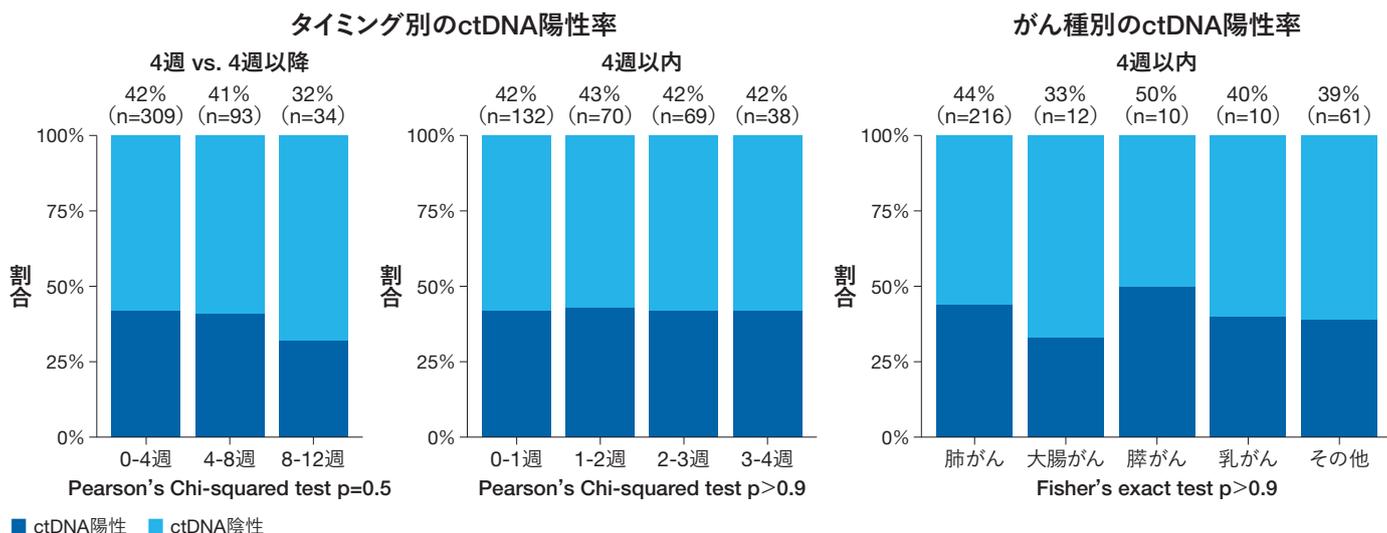
アジア・中東地域の進行がん患者において、リキッドCGPの初回検査でctDNA陽性(ctDNA検出あり)は88%(11,418例/12,972例)でした。

初回検査でctDNA陰性(ctDNA検出なし)のうち、4週以内に再採血を行った患者では、42%がctDNA陽性となりました(131例/309例)。



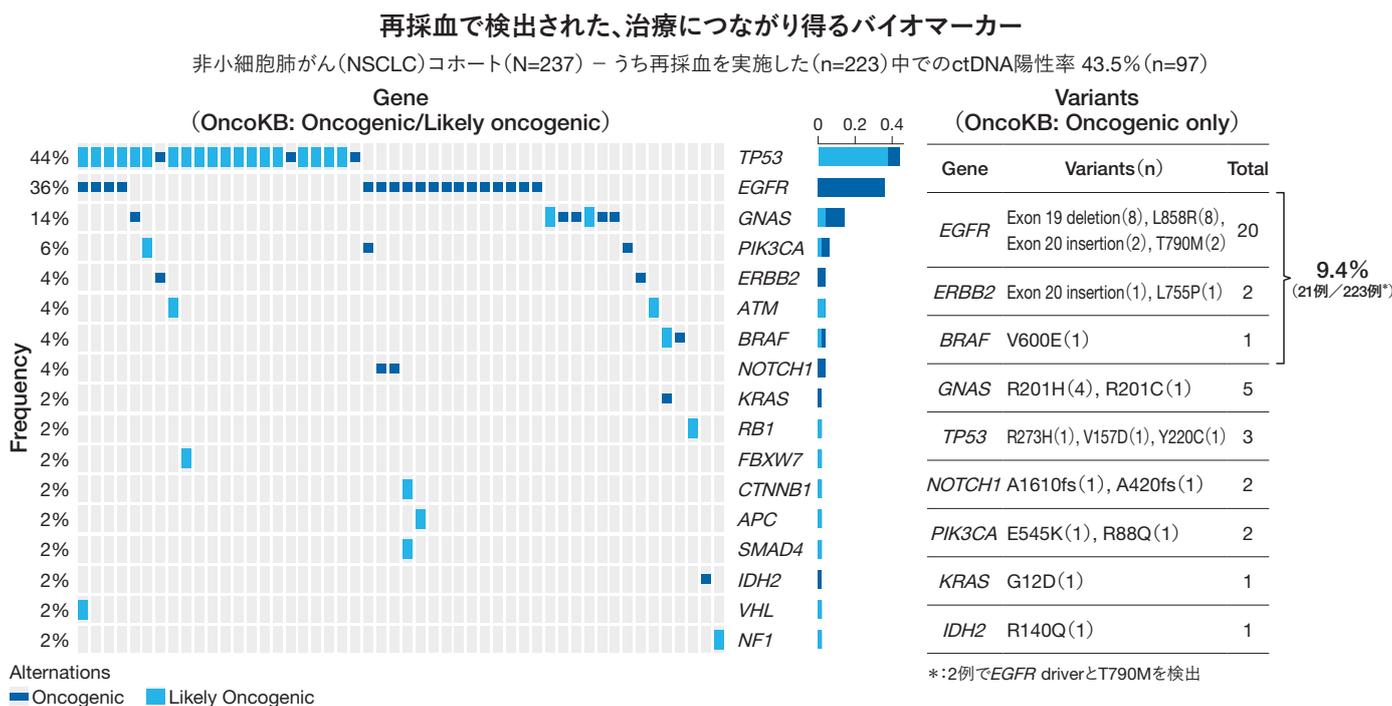
Murakami T., Olsen S.: JSMO2025 Abstract MO43-4の内容を元に作図

再採血時のctDNA陽性率は、タイミング別およびがん種別に見ても有意な差は認められませんでした。



Murakami T., Olsen S.: JSMO2025 Abstract MO43-4の内容を元に作図

非小細胞肺癌 (NSCLC) コホートにおいて、4週以内に再採血を実施した患者の9.4%で治療につながり得る遺伝子異常 (*EGFR*、*ERBB2* [*HER2*]、*BRAF*) が検出されました (21例 / 223例)。



- Guardant360® CDx がん遺伝子パネルでは、検体中のctDNA量の不足等が疑われ、検査結果が遺伝子異常未検出の場合、検体の再提出を受け付けております。

*Guardant360® CDx がん遺伝子パネルの保険適用: 算定要件をご参照の上、ご使用を判断してください。

ガーダントヘルスジャパン株式会社 〒105-7590 東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー10F

ウェブサイト: <https://www.guardanthealthjapan.com>

クライアントサービス: 0120-545-041

お問い合わせ: japan.clientservices-amea@guardanthealth.com

